



-あいさつは心をこめて

2019.4.17 校長 渡邊あけみ



2015年のスタート

新入生63名を迎えて、全校児童442名、教職員数62名で、今年度の出発をしました。

私は、昨年度、初等中等教育研究センターアカデミックアドバイザーとして授業観察や授業づくりに先生方と一緒に取り組んでまいりました 渡邊 あけみ です。どうぞよろしくお願いいたします。

前任の白岩校長先生を中心に先生方が建学の精神「教育は愛なり」教育方針「常に神と共に歩み、社会に奉仕する」を理念として取り組まれてきたなぎさの教育のよさを実感しています。中でも、始業式、入学式、その後の子どもたちの暮らしぶりの中で強く意識することができ、大変うれしく思います。

さて、これから、折にふれて学校の様子や私の願いを伝える場として、校長通信「なぎさstyle」をお届けします。

コバノトネリコ

中央棟ウッドデッキの真ん中に立つ木。白い花がはらはらと散って風に舞います。野球のバットの材料とは、驚きです。

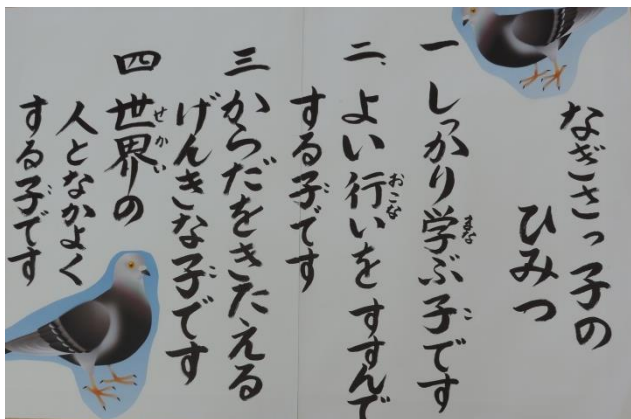
今月の生活目標

- あいさつをしよう
- 登下校のマナーを守ろう

校門脇に並んで開門を待つ子どもたち。学校に入ると、立ち止まって丁寧に挨拶をして朝の挨拶をします。

中には、元気な声や笑顔を添えて挨拶ができる子ども大勢いて、気持ちのよい朝の始まりです。今月の生活目標を心にとめているようです。

入学式では、校門近くの桜が春雨のため、残念ながら散ってしまったところでしたが、舞台一面の見事な桜の花々で新入生を迎えることができました。心も体も伸びる1年でありたいと思います。式辞の中で、「ハトの兄弟」からの手紙を紹介して、学校の目標について話しました。



「入学おめでとうございます。」の言葉に「ありがとうございます。」と返事しておじぎするなど、よく聞いて、よく考えて行動することができる立派な1年生でした。式場いっぱいに、晴れやかな笑顔があふれました。

始業式の朝～

▲5年銀杏組

各教室をまわると、このようなメッセージがどの教室も書かれていました。子どもたちとの出会いを楽しみにしている担任や副担任の先生の想いがにじみ出ています。

子どもたちも、新しい先生、新しい友だちとの出会いをうれしく感じたのではないのでしょうか。

新学期は、少し緊張して体調を崩しがちです。ゆっくりと確実に歩いていきましょう。困ったことがあれば、何でも先生に相談してください。

朝の登校時に「今日は、楽しい会があるよ。」と嬉しそうに話しながら教室に向かう子どもたちを見ました。出会いのためのゲームや学級開きの会を計画したクラスもあり、うれしい限りです。

1年間、私たち教職員一同は、心を一つに合わせ、子どもたちの成長を応援したいと思います。